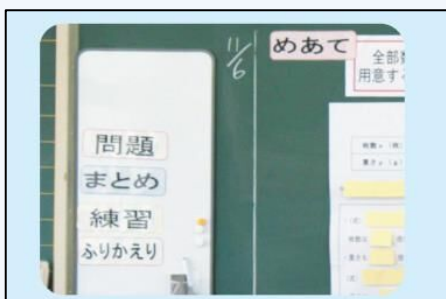




今回のポイント：「1 単位時間の『授業の流れ』や『個別支援』を授業支援アプリ等に掲載し、児童生徒がいつでも確認可能な状態にしておく」

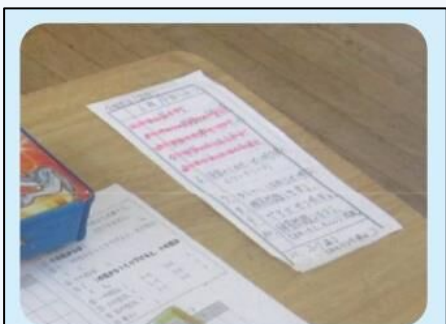
ICTが苦手な人も「まずはここから！」

これまで **アナログ** でしていたことを…



黒板に示していた「授業の流れ」を…

【参考】
通常学級の特別支援教育ガイド～通常学級における特別支援教育の観点を取り入れた授業づくり～



個別支援のためのヒントカードの内容を…

デジタル も活用する！

国語 (3年A組)

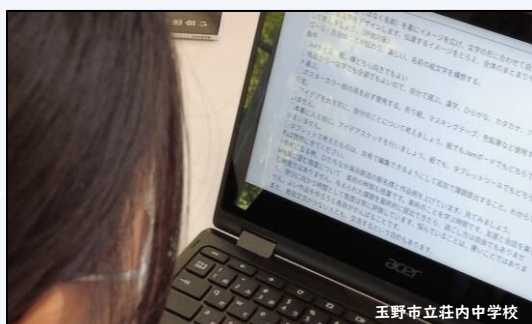
2023/11/15 (最終編集: 10:58)

本日の授業の流れ

- ①【本文を読む】
- ②【めあて】 友達に詩のよさを伝えるために、自分の好きな詩を見つけよう
- ③【自分で考える】 8つの詩の中から、最も好きな詩を選び、理由を考える
- ④【グループで交流】 グループでそれぞれの考えを伝え合う。
- ⑤【全体で交流】 クラス全体で発表し合う。
- ⑥【まとめ・振り返り】 今日学んだことや成長したことを記録する。

※「デジタル教科書」や、端末の「録音機能」も活用しましょう。

クラウド上に掲載し、いつでも確認可能にする。



端末に表示し、細部まで確認可能にする。

本実践で育成できる児童生徒の資質・能力

授業内容や教師の指示等が、いつでも端末で確認できるため、学習の見通しを持ちやすくなり、自身の学習ペースで、**学びの判断(自己決定)**がしやすくなります。また、クラウドを活用して事前に授業内容を知ることのできるため、疑問点や質問を考えておく等、予習に活用することもできます。

本実践における教師のメリット

クラウドに授業の流れや授業資料を提示することで、教師の説明や指示等の時間を削減でき、授業時間を効果的に管理(タイムマネジメント)しやすくなります。さらに、一斉指導の時間を効率的に行うことで、児童生徒の進捗状況をリアルタイムで把握する時間が増え、**個別のフィードバック**を行いやすくなります。

「こんなときどうする？」端末活用 Q&A

Q. 毎回クラウドに授業の流れや資料をアップロードするのに、時間と労力がかかるのではないのでしょうか。

A. 授業の流れや基本的な資料のテンプレートを作成し、それらを再活用することで、**準備時間を大幅に短縮**できます。

【参考】文部科学省 GIGASuDX 「授業の導入でひな形カード配信」 <https://www.mext.go.jp/studstyle/students/L.html>



Q. クラウド等の「デジタル」より、紙やカード等の「アナログ」の方が学習しやすい児童生徒もいるのではないのでしょうか。

A. もちろん一部の児童生徒にとっては、アナログの方が学習しやすい場合もあります。重要なのは、デジタルとアナログの両方の手法を柔軟に取り入れ、**多様な学習方法の中で、児童生徒自身が、選択可能な状態にしておくこと**です。